

## Tower Pods、令和6年度「電波の日・情報通信月間」北海道総合通信局長表彰を受けました

2024年6月3日東京 – 国際的な不動産グループであるレンドリースの子会社 Tower Pods (タワーポッズ) 合同会社 (本社: 東京都港区、職務執行者アンドリュー・ガウチ、以下「Tower Pods」) は、6月3日に開催された令和6年度「電波の日・情報通信月間」記念式典にて、北海道総合通信局長表彰を頂きました。

インフラシェアリング事業者として、通信鉄塔等の整備、管理、運用保守を行い、複数の携帯電話事業者で共有することにより、5Gの普及展開を加速化し、条件不利地域におけるエリア整備に多大な貢献をしたことにより、表彰されました。

レンドリースは、2001年から日本の携帯電話事業における、基地局、伝送装置、ネットワークセンターなどの建設プロジェクトに対してマネジメント業務を提供し、20万局を超えるプロジェクトを手がけています。また携帯電話基地局向けのコンクリートポール製品を独自に開発し、これまで全国に4,000基以上を供給してきました。このコンクリートポール製基地局は、従来の鋼管鉄塔に比べて景観を損なわないだけでなく、建設コストの大幅な削減を実現しています。2016年以降、日本国内に複数の40m通信鉄塔を建設・保有しインフラシェアリング事業を開始しました。2020年には Tower Pods を設立し、本格的にインフラシェアリング事業を展開しています。

この度受賞しました Tower Pods のインフラシェアリング事業は、地方のルーラルエリアにフォーカスし、デジタルデバイド(情報格差)の課題を抱える地方に5Gネットワークを早期に整備し、総務省が掲げる「誰一人取り残さない」デジタル化社会の実現に資するものです。サステナブルなネットワーク構築を実現できるインフラシェアリングを、各通信事業者と協力し今後も拡大を図って参ります。

参考資料: 総務省北海道総合通信局 報道資料

<https://www.soumu.go.jp/soutsu/hokkaido/2024/0527.html>



写真左から: 総務省 渡辺孝一副大臣、レンドリース・ジャパン(株)技術開発部部长 梶井健二、取締役兼建設・通信事業統括 坂本真一



写真左から: レンドリース・ジャパン(株)取締役兼建設・通信事業統括 坂本真一、北海道総合通信局 廣重憲嗣局長

詳細については、以下担当者または、広報事務局にお問い合わせください。

青根 静  
マネジャー  
コーポレート・アフェア&マーケティング  
080-3578-3971  
[Shizuka.Aone@lendlease.com](mailto:Shizuka.Aone@lendlease.com)

レンドリース・ジャパン広報事務局  
(アルゴバース内)  
田熊 秀美  
090-4167-8181  
[taguma@argo-ms.com](mailto:taguma@argo-ms.com)

**About Lendlease:**

レンドリースは、国際的な不動産グループです。街づくりや結びつきの強い地域社会を創造するエキスパートです。

当社のパーパス(存在意義)は、「未来のために、持続可能な価値を生む場所を創造します」です。

オーストラリア・シドニーに本社を置き、オーストラリア証券取引所に上場しています。オーストラリア、アジア、ヨーロッパ、アメリカで事業を行っています。

当社の強みは、不動産開発、投資そして建設の事業セグメントに表れています。詳細については、ウェブサイトをご覧ください。 <https://www.lendlease.com/ja-jp/>